

「令和6年度 市民トーク」開催結果（片浜地区）

以下のとおり結果を報告します。

1 日時等

- (1) 日 時 7月17日（水） 午後7時00分～午後8時30分
- (2) 会 場 片浜コミュニティ防災センター
- (3) 内 容 市長からの市政報告・地区からの質問
- (4) 参加人数 30人

2 市長からの市政報告

当日の配布資料を添付

3 地区からの質問

別紙のとおり ※事前質問は回答書を配布・当日の会場での質問あり

4 当日の様子



令和6年度 市民トーク（片浜地区）質問・要望一覧

日時：令和6年7月17日（水）
19時～20時30分

場所：片浜コミュニティ
防災センター

番号	事 項 名	担当部課
1	信号機・横断歩道の撤去について	危機管理課
2	巨大地震時の防災について	危機管理課
3	国道150号線バイパスについて	建設課
4	堀切川・大磯川の川底土砂の浚渫について	建設課
5	サル・イノシシの被害状況について	お茶特産課
6	横沢川のポンプ設置について	農林水産課

令和 6 年度 市民トーク

片浜地区 (7/17 開催)

質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	①信号機・横断歩道の撤去について
内 容	2024 年度に、牧之原警察署は使用頻度の低い信号機と横断歩道を撤去する方針を出している。 片浜区内も、国道 150 号線沿いの信号機 1 か所、横断歩道 3 か所、旧 150 号線でも 2 か所の横断歩道の撤去が検討されている。 片浜小学校が統合されバス通学になったこともあり、通学利用がなくなったことも要因の 1 つと思われるが、利用はゼロではない。 特に、150 号線は朝夕の交通量が多く、横断歩道のない場所を横断しようとしてもパトカーでも停止してくれない。 ところが、横断歩道に立てば基本的にどんな車も停止してくれるので安心して横断できている。 信号機や横断歩道の維持費用は数が多ければ財源負担になることは理解するものの、横断歩道がなくなることで、車の流れの隙間を走って横断する場面も多くなり、危険性が増すことは明らかである。 使用頻度の低い信号機や横断歩道でも安全には変えることはできない。 決定権は警察署にあることは理解しているが、市長の考えをお聞きしたい。
回 答	今回の信号機等の撤去等につきましては、令和 3 年 3 月 24 日付けで警察庁から各県警本部へ「信号機設置の指針」が制定された旨の通知があり、全国の都道府県において行っているものとなります。

	市民生活へ直結する内容であることから、当市より県市長会の会議において、地元への丁寧な説明をする旨の要望をいたしました。これを受けて県市長会長の焼津市長より県警察本部へその旨の依頼をしたとの報告を受けております。 信号機の撤去等につきましては、静岡県警が判断をすることありますが、過去の信号機、横断歩道設置経緯等、地元との協議を丁寧に行っていただくようお願いをしております。 【担当：危機管理課】
--	---

令和6年度 市民トーク

片浜地区（7/17 開催）

質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	②巨大地震時の防災について
内 容	南海トラフ巨大地震の津波被害想定から、片浜地区のほとんどが浸水区域となり、旧片浜小学校の3階だけが安全な施設として津波避難ビルに指定されている。 このことから、巨大地震災害時の避難・備蓄保管場所としてここを利用することが考えられる。 また、旧小学校横から大磯原に登る道路は、「急傾斜地崩壊危険区域」であり、現状斜面の道路に亀裂が入り小石の崩落箇所がたくさんあり、大規模な地震に耐えられるか心配な場所である。 このような状況もあり、「長期の避難生活場所」及び「非常時用食料等倉庫」の準備が必要と考える。 ① 旧片浜小学校について 校舎は、市の津波避難ビルに指定されているが、現在、カタショーワンラボ等が使用している。災害時に避難所として機能するように（区で使えるように）なっているのか？どんな条件で貸しているのかご教示願いたい。 ② 市の防災倉庫について 現在、旧片浜小学校の運動場の西側に、市の防災倉庫が設置されているが、校舎と離れている。防災倉庫は避難場所の近くに置くべきと思うので、校舎の敷地近く移設してほしい。 ③ 堤防について 予想される津波対策として、今の堤防の外側（畑地側）に大きな堤防を築くという計画があったが、その後どのようなになっているか？

回 答

① 旧片浜小学校施設については、市と賃借人である株式会社マキノハラボが、普通財産（土地建物）賃貸借契約書を締結し、条件を定めております。

その中で、屋上は災害時における避難場所とすることを条件としているほか、災害発生時などにおいて、市が必要と認めるときは、市が施設全体の活用を行うことを同意するなど、市が行う防災対策に協力することを定めております。

こうしたことから、市が指定避難所に指定しており災害時に活用できることとしております。

【担当課：企画政策課】

② 津波の浸水深等を基に、旧片浜小学校南校舎の屋上を津波避難ビルに指定しており、津波等による被害がない場合には、避難所スペースとして活用するという事で指定避難所としております。

津波等による被害がない場合には、グラウンドを避難スペースとして活用するため、市の防災倉庫にはテントや毛布が収納してありますので、使用目的や費用対効果も考慮し、倉庫の移設については現在考えておりません。

市といたしましては、校舎内に空きスペースがあるということで、備蓄品の収納場所としての活用を検討してまいります。

【担当課：危機管理課】

③ 片浜海岸の防潮堤については、レベル1の地震・津波に対応した、嵩上げについては完了し、粘り強い化の整備が残っている状況であります。

令和2年3月に作成したMG P（牧之原減災計画）の基本計画書では、レベル2の地震・津波に対応した防潮堤の整備は、海岸防潮堤の背後地が広く道路や家屋等の制約が少ない場合は盛土形式、背後地が狭く制約がある場合は構造物での整備と基本的な方針を定めております。

また、国道150号線の整備の際に道路を嵩上げし、防潮堤とするという地元からの意見もありましたので、その整備手法も含めて検討しております。

【担当課：建設課】

令和6年度 市民トーク

片浜地区（7/17 開催）

質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	③国道 150 号線バイパス道路について
内 容	現在、片浜区の主要な幹線道路は、東西に国道 150 号線が走っているだけである。堀切、久保柄、大磯は旧道と 150 号線が並走しているが、法京、坂井地区には 150 号線のみである。朝晩の交通量は激しく、通勤・通学に交通事故が心配される。また、この状態は、災害時の避難、復旧時の大きな妨げになることが考えられる。 昨年度、国道 150 号線バイパスについて質問と要望をした。 このバイパスは、西は大沢地区まで延び、東は静波のコンビニ付近から吉田の海岸線近くを通り焼津まで続くと聞くが、この区間の道路が未実施である。 30 年、40 年前にバイパスの話が持ち上がったが、当時は住民の強い反対があり頓挫したと聞いている。ただ、その時とは地元住民の考え方や生活ぶりは大きく変わっており、昨年度の片浜区の区会での説明会では、特段の反対の意思表示はなかったと記憶している。また、大江地区においても同様の説明会を開いたとも聞いている。 元旦の能登半島地震でも交通インフラの整備が、防災・減災・復興・復旧に大きな役割を果たすことは明らかであり、片浜区としては、早急に整備を進めていただきたい。 そこで、バイパス整備の市としての考え方、進捗状況、見通し等について教えてほしい、 国や県に要望をしているという内容ではなく、具体的な回答をお願いしたい。
回 答	国道 150 号（片浜区間）は、朝晩は交通量が多く、う回路もないために慢性的な交通渋滞が発生しており、これまでも交通事故などの際には、通行に大きな支障が発生しております。

	市としましては、このような状態を改善するため、近隣市町と国道 150 号バイパス建設促進期成同盟会を組織し、国や県に早期整備の要望活動を行っております。特にう回路のない片浜～大沢区間につきましては、事故発生時のう回路、原子力災害時の避難路及び志太榛原医療圏で産婦人科、周産期医療を担う焼津市立総合病院へのアクセスの確保のために早期の事業着手を強く申し入れております。 こうした要望を受け、県は、令和 4 年度から令和 5 年度において未着手区間の事業費を算出するための業務を発注し、道路の計画高等を見直すことにより、トンネルや高架橋などの構造物区間を減らし、土工区間を増やすことで工事費の圧縮を図るとともに、維持費を抑えられる道路計画の見直し案を作成しました。 また、平行して、関係する御前崎市、吉田町及び事業主体である県と、事業化を目的とした勉強会を実施し、志太榛原地域の道路交通ネットワークを検討する中で、150 号バイパス未整備区間を整備すべき優先区間として整備促進していくことを確認しました。 さらに、整備促進するうえで、片浜、大江、大沢の各区で意見交換会を実施し、片浜区におきましては令和 5 年 1 月に役員の皆様を対象に開催し、特段の反対意見はなく、早期整備を望む意見が多数であったことから、市としても大変心強く感じたところであります。 県は、静波～片浜区間の現道区間と片浜～大沢区間の新設区間を一体として事業を進めていく考えを持っておりますが、市といたしましては、早期整備のため現道区間と新設区間を別に事業化するよう要望しております。 今後におきましても、引き続き国や県へ整備促進に対する要望を地元の大石県議会議員にもご協力をいただきながら積極的に実施し、早期事業着手に向けて取り組んでまいります。 また、原子力災害時の避難路でもあることから、今後、経済産業省へも要望を広げていくことを考えております。 【担当課：建設課】
--	--

令和6年度 市民トーク 片浜地区（7/17 開催） 質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	④堀切川・大磯川の川底土砂の浚渫について
内 容	昨年度の市民トークにおいて要望させていただいた、「堀切川・大磯川における川底土砂の浚渫」について、本年度予算化して浚渫・伐採を計画していただいていると認識している。 堀切川における浚渫範囲は旧道より上流側との話もあるが、旧道より下流側も草木の繁茂がすごく、川の流れを悪くし、流木等をせき止めてしまう状況にある。 この状況下で、6月18日の降雨では、もう少しで川が氾濫するまでに水位が上昇した。 また、大磯川については土砂の量はさほどではないが、木が生えている状況である。 両川は、天井川のようになっており、大雨の際にあふれると、久保柄地区と堀切地区に一挙に水が入ってくることが予想される。 昨今の線状降水帯による大雨、台風の事を心配する住民は多い。両川の土砂の浚渫を旧道より下流も含め早期にお願いしたい。 また、堀切川の土砂が2年程度で大量にたまるという現状は、河川上流にある砂防ダムに問題があるのではないかと考えるが、これに対する見解と、対策について伺いたい。
回 答	河川の浚渫につきましては、市内24の河川について、国の国土強靱化対策による緊急浚渫事業債を活用して、令和2年度から6年度にかけて計画的に浚渫を実施しており、片浜区については、令和3年度に4本の河川（堀切川、ラムネ川、寺川、滝の川）の浚渫を実施いたしました。 ご質問の堀切川と大磯川につきましては、本年度に実施を予定しており、堀切川につきましては市道（旧道）から上流の河道内の草

	木の伐採及び市道（旧道）から国道 150 号までの間の浚渫を実施してまいります。 また、大磯川につきましては、市道（旧道）から上流の河道内の草木の伐採を実施してまいります。 堀切川上流の砂防ダムにつきましては、管理者である島田土木事務所に確認したところ、これまでの施設点検では異常は見られないことから、施設については健全な状況であり、機能に問題はないとの回答でありました。今後、施設の点検等の際には、砂防ダムの上流部の状況についても確認を行うよう依頼してまいります。 【担当課：建設課】
--	--

令和 6 年度 市民トーク

片浜地区（7/17 開催）

質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	⑤サル・イノシシの被害状況について
内 容	6 月 14 日の牧之原市からの情報メールで、サル出没情報があったが、イノシシの情報も合わせ、その後のサル・イノシシの出没範囲等がどうなったかの続報を被害状況も含めて教えてほしい。
回 答	サル出没情報ですが、静波区及び川崎区で出没していたサルは、片浜区を横切り、大江区、地頭方地区を通り過ぎ、6 月 21 日頃には御前崎市へ移った模様で、サルによる被害報告はありません。 万が一、サルを見かけたときには、目を合わせない、刺激しない、えさを与えない、戸締りをしっかりするなどの点に注意をお願いします。 イノシシについては、現在も市内各所で出没しており、水稻、トウモロコシ、自然薯などの農作物被害について報告を受けております。 イノシシの被害でお困りの際は、お茶特産課までご連絡をいただけましたら、猟友会と連携して箱わなの設置をし、イノシシの駆除をしております。また、ご自身の農地や作物を守るため、電気柵などを設置する際には市の補助制度などもありますので、ご相談ください。 参考までに、捕獲頭数については、令和 5 年度は市内全域で 400 頭を捕獲・駆除をしました。本年度は 7 月 7 日現在で 13 頭と例年より少ない状況であります。7 月から 9 月にかけて捕獲頭数が増加する傾向にありますので、今後も、猟友会の協力のもと、イノシシなど有害鳥獣の駆除を実施してまいります。 【担当課：お茶特産課】

令和6年度 市民トーク 片浜地区（7/17 開催） 質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	⑥横沢川のポンプ設置について
内 容	大磯地区の「横沢川」について。 昔は旧道より山側は田んぼであったが、今はほとんど畑となっていて、山からの雨水等は、すべて「横沢川」に流れ込んでいる。 そして、「横沢川」の水が「ゴンパ川」に流れ込み、「ゴンパ川」は排水容量を超え、周辺の畑や住宅地等に流れ込み被害をもたらしている。 2年前の市民トークで「横沢川」にポンプの設置をお願いした。 市長の回答では「設置する方向で考えている」との事であったが、「いまだに設置はおろか計画すら聞こえてこない。 設置してくれるのか今一度要望する。
回 答	普通河川横沢川への排水ポンプ設置につきましては、令和4年度の市民トークで「排水ポンプ設置に向けて県と協議をすすめていく」と回答しておりますが、その後、県と市と地元の3者で現場立会を行うとともに排水計算を行った結果、フラップゲート前の堆積砂が原因であることがわかったため、砂を撤去することで、ポンプによる強制排水をしなくても、自然流下で十分に排水できることを前区長様にお伝えしております。 その後、台風通過直後に現地を確認いたしましたが、越水しておりませんでした。 今後も、適切な排水が行われるように管理をしてまいります。 【担当：農林水産課】

「市民トーク（片浜地区）」の当日参加者による質問

※会場での質疑応答になりますので、標記が口語体になる場合があります。

追加質問 ②巨大地震時の防災について

防潮堤の質問について、今の防潮堤の外側に新たな堤防を築くという計画がどうなったか？と質問させていただいたが、この回答のどこに当てはまるか？

それとも、こういう計画はもともと違うということか？

【回答者（建設部長）】

L2と言われる数千年に一度の地震に対する津波については、堤防の裏側、民地側に盛り土形式で施工すると、現在の牧之原市減災計画では基本的な計画としていますが、片浜地区では国道150号バイパスの計画もあり、このトンネルを使ってやったらどうかとか、道路自体を嵩上げしたらどうかとか、いろいろなご意見をいただいております。市でも引き続きいろいろな考えの中で検討をさせていただければと思います。

追加質問 ④堀切川・大磯川の川底土砂の浚渫について

堀切川ですが、いつも旧道の上と下を施工してくれますが、国道より下は管轄が違うということでいつも施工されません。もう10年以上、海から流れた丸太等が重なっている状態です。今は水が流れているので良いかもしれませんが、その上に草が生え、土手も草がうっそうとしていて、自分で刈るのが大変な状況です。

できればそれも市で対応していただければと思います。

検討をお願いいたします。

【回答者（建設部長）】

国道150号より下流側から海までということですが、現場の確認をさせていただいて、やれるところについては手をつけていきたいと思っています。

よろしくをお願いいたします。

【質問者】

質問では、土砂の浚渫を旧道より下流も含めと要望していますが、回答はどうでしょうか？

【回答者（建設部長）】

堀切川は、3年前に一度、旧道から150号線までやりましたが、川の勾配が上流は急ですが、ちょうどこのあたりから勾配が緩くなって土砂がたまりやすい状況です。そこも含めて堀切川については手をつけていきたいと考えております。

追加質問 ⑥横沢川のポンプ設置について

ポンプ設置の要望について回答をいただきましたけれど、非常にがっかりしました。この2年間で「設置する」から、「設置しない」に変わったことはちょっと驚きです。県・市・地元の三者で現場を立ち会ったということですが、これには地権者はいたのですか？地元は誰が立ち会ったのか？

【回答者（産業経済部長）】

当時の区長と立会いを行い、結果についてもお伝えをさせていただいております。

【質問者】

なぜその時に地権者を一緒に同行させなかったか？とびっくりしています。

説明では、河川の海岸出口に砂が溜まり、それを取り除けば問題はなくなるということで、写真は台風の前写真です。

ところが、台風による大波とか、または豪雨による大雨で、河川から溢れそうな水の中を、誰が河川の出口の砂を取り除いてくれるのですか？命がけです。

今の写真だと綺麗になっていますが、実際に大きな台風の後には、ほとんど見えなくなるぐらい砂が溜まります。

その砂を台風が来ている時に取ってくればいいのですが、そんなことができるわけがない。それをやるのは本当に命がけです。

人の命に関わる問題ですから、ぜひポンプを設置したらどうですか？という話です。それによって地権者の方たちも自分の畑が守られる。

住宅では、4・5年前に床上浸水までなった。

そういうことから守れるのであれば、ぜひ設置してほしいという要望が出ているわけです。

ですから何度も何度もお願いをしているわけですが、その回答がこれでは少しかかりです。もう少し考えてほしい。

【回答者（産業経済部長）】

今ここでやりますということ言えませんが、実際に令和4年の市民トークでご要望
いただいて、それ以降、台風や豪雨の後に現場は確認させていただいておりますが、
それ以降は溢れているという状況は確認できておりません。

確かに、台風が来ている最中に、砂を取るというのは無理な話ですので、台風が来
る前なのか、来た後なのかということですが、基本的には砂がついていなければ水は
流れていきますので、砂がつかないように、その都度確認をしながら砂を取っていく
ように考えています。

【質問者】

横沢川だけでなく、いろんな河川の出口というのは、今写真を撮ればだいたいこの
ように映ります。

ところが災害の後、台風の後ってこんな綺麗には撮れません。砂だらけです。

境川もそうですが、本当に皆さんが心配しております。

先ほどから聞いていますと、1000年に一度の災害のためにL2の堤防を作ろうと
している。これはいつ来るかわからない。

でも、5年前に大きな台風が来て、それで災害が起きて被害があったわけですから、
ぜひとも考えていただきたい。

また素晴らしい回答を期待したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

【回答者（産業経済部長）】

片浜地区の河川は、どこの河川も同じような状況で、台風のたびに砂をとっている
という状況ですので、こちらとしてはその砂を適に取っていくということで回答させ
ていただきたいと思います。